

第2次弥富市総合計画後期基本計画策定に向けた市民ワークショップ

## 「弥富・みらい創造」

### 報告書



令和5年1月

## ワークショップの概要

### 1 目的

令和6年度を初年度とする第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定にあたり、市民、地域団体、行政など、お互いが持つ情報や考えを共有し、協力し合えるまちづくりを進めていくために市民公募によるワークショップを開催しました。

### 2 日時・内容等

回	日時	内容
第1回	令和4年10月21日(金) 19時~21時	『弥富市の現状・課題を把握して共有しよう』 【インプット】総合計画、市の現況等の説明 【グループワーク】市の現状、課題の共有
第2回	令和4年11月4日(金) 19時~21時	『テーマ別の課題について考えよう』 【グループワーク】分野別に課題の洗い出し
第3回	令和4年11月25日(金) 19時~21時	『課題解決に向けた取組について考えよう』 【グループワーク】分野別に課題解決となる案出し
第4回	令和4年12月16日(金) 19時~21時	『テーマ別の課題について考えよう』 【グループワーク】分野別に地域や自分でできる取組の意見出し／ワールドカフェ方式

※会場は、いずれも弥富市役所本庁舎3階大会議室にて実施

### 3 参加者

- ・市内に在住、在勤、在学の18歳以上の方
- ・市が連携している大学(中京大学、愛知学院大学)の学生 計22名

※その他オブザーバーとして、総合計画審議会委員3名が参加

### 4 コーディネーター

愛知学院大学 社会連携センター 藤井勉 助教



## 5 グループと分野一覧

総合計画に位置付けられた6つの基本目標を3つのグループに分けてワーキングを行いました。

基本目標	基本施策	グループ
基本目標1 いつまでも住み続けた い安全・安心なまち 【生活環境】	○防災対策の推進	A
	○消防・救急体制の強化	
	○防犯・交通安全対策の推進	
	○環境衛生の充実	
	○環境対策の推進	
基本目標2 笑顔あふれる、健やか かで共に支え合うまち 【健康・子育て・福祉】	○子育て支援の充実	B
	○高齢者支援の充実	
	○健康づくり・医療体制の充実	
	○障がい者支援の充実	
	○地域福祉の充実	
基本目標3 心豊かで文化を育む 人づくりのまち 【教育・文化・スポーツ】	○学校教育の充実	B
	○生涯学習の充実	
	○スポーツの振興	
	○文化・芸術の振興	
	○青少年の健全育成	
基本目標4 人と地域の資源を活 かし、にぎわいを生み出すまち 【産業・雇用】	○農水産業の振興	C
	○商工業の振興	
	○観光の振興	
	○雇用対策・勤労者福祉・消費者保護の充実	
基本目標5 良好な都市基盤が 整った便利で快適に暮らせるまち 【都市基盤】	○上下水道の充実	A
	○道路・交通網の充実	
	○治水対策の充実	
	○市街地の整備	
	○公園・緑地の充実	
	○住環境の整備	
	○港湾地域等の整備促進	
基本目標6 市民と行政がつなが り、共につくるまち 【協働・行財政】	○持続的な行財政運営	C
	○市民協働の推進	
	○男女共同参画の推進	
	○人権啓発等の推進	
	○多様な主体との交流・連携の推進	
	○コミュニティの強化	
	○情報の共有	

## 6 各回の結果

### 第1回「弥富市の現状・課題を把握して共有しよう」

#### 【内容】

- ・総合計画及び弥富市の現況についての説明
- ・社会動向、国の動向等についての説明
- ・弥富市について、普段感じていることや事前に調べたことをグループ内で共有し発表

#### <主な意見>

#### A グループ

- バスの便数が少ない。(みよし市6便に対し、弥富市3便)
- 飲食店が少ない。それは、市民に外食をしない傾向が強く、また、学生が弥富市で何かをすることが少なく、真っ直ぐ家に帰ってしまうことも要因として考えられる。
- 道路が狭い。しかしながら、最近、国道1号線で事故があったように、道路の幅員に関わらず、何か交通安全対策などを行うことが必要ではないか。
- 市内にドン・キホーテがあるが、その立地が良くないため、もう少し人が来やすい場所にあることで、更に発展していくのではないか。
- 防犯カメラの設置数は多いが、高齢者数も増加しており、その高齢者宅を狙った空き巣被害も増加している。防犯、防災の面において何か対策が出来ればよい。

#### B グループ

- スポーツイベントを市内で行っていても、実際に市民が知らずに終わってしまうケースが多い。そこで、駅でのポスター、チラシ等により高齢者へ周知を図ることや、若者へSNSで発信することで解決するのではないか。
- ヤトミーティング事業について、現在 41 人で運営しており、10 代から 80 代という幅広い年齢層は大きなメリット。弥富市在住でなくても参加ができるため、外部の視点も含めて多角的に見ることができる。課題としては、夜7時から9時という時間帯に会議に出られる方が限られており、小さな子供を連れて対面で参加するというのが難しいため、現在は、30 代から 50 代の男性が多くを占めており、意見の幅が狭くなってしまっているのではないか。そこで、子供が遊べるスペースを一室設けることで、その子供が大人になったときに自分もやってみたいと思えるような環境づくりにも繋がるのではないか。
- なぎなたを通じて市を発信していく姿勢が、市民にも伝わっていない。現在、愛知黎明高校野球部が強くなってきていることから野球でのアプローチもできる。これらのスポーツを一貫して広められる活動があれば、スポーツ振興という観点から弥富市を大きく広げるチャンスになる。

## C グループ

- 高齢者が増えている。
- 老人、高齢者が住みやすく、また、幸せに暮らせるようにと考えることが、今の若者に対して負担になっているのではないか。
- 退職後の残りの時間で、若者に対してできることをしようという考えを持っている高齢者がいる。
- 高齢者の中には、まだ現役であったり、知識を持った方は沢山いるので、情報の伝え方について、紙媒体ではなく、人によってはデジタルな物を活用していけばよい。LINEなどのSNSで情報を発信することで、その人たちの反応が得られるのではないか。
- 新型コロナウイルスのワクチン接種の対応が早く、市民がスムーズに打てたことは良かった。
- これまでコロナにより中止となっていたお祭りが今年は開催されたが、今後、コロナとどう向き合いながら市民の皆さんを引っ張っていくかが課題。
- 一定数の高齢者は家から出て活動をされるが、活動されない方との差が激しいため、そのような人たちをどのようにコミュニティの場に引っ張るかが課題。



## 第2回「テーマ別の課題について考えよう」

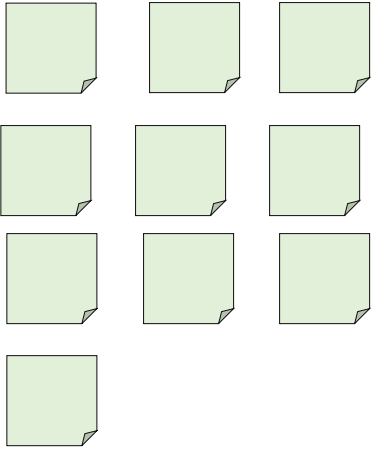
### 【内容】

・グループに割り当てられた分野の課題を抽出し、模造紙にまとめ発表

### 〇ワーク(分野別の課題の抽出)

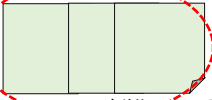
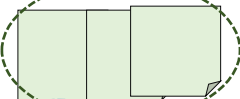

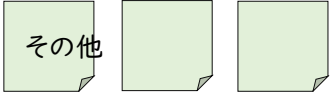
①各自が考える課題を話し合いながら付箋に記入し、貼り付けていきました。

例) 基本目標1 いつまでも住み続けたい安全・安心なまち【生活環境】

分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
		



②出された分野別の課題を、カテゴリ分け、見出し付け等を行い、グループごとに発表しました。  
 ※結果については、本報告書 12～17 ページを参照

分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>防災対策</p>  <p>避難所・要支援者対応</p>  <p>環境・公害対策</p>  <p>その他</p> 		



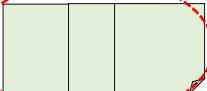
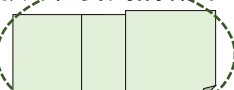
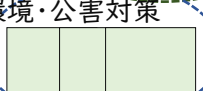

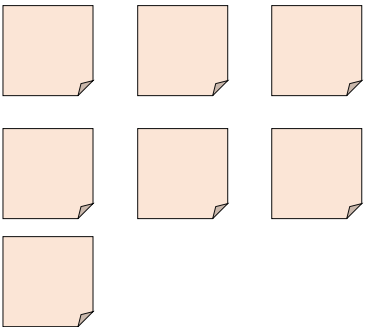
### 第3回「課題解決に向けた取組について考えよう」

【内容】

・分野別の課題を受けて、やるべきことを整理し、模造紙にまとめ発表

○ワーク(分野別のやるべきことの整理)

①分野別の課題を確認しながら、分野別のやるべきことの意見を付箋に記入し、貼り付けていきました。

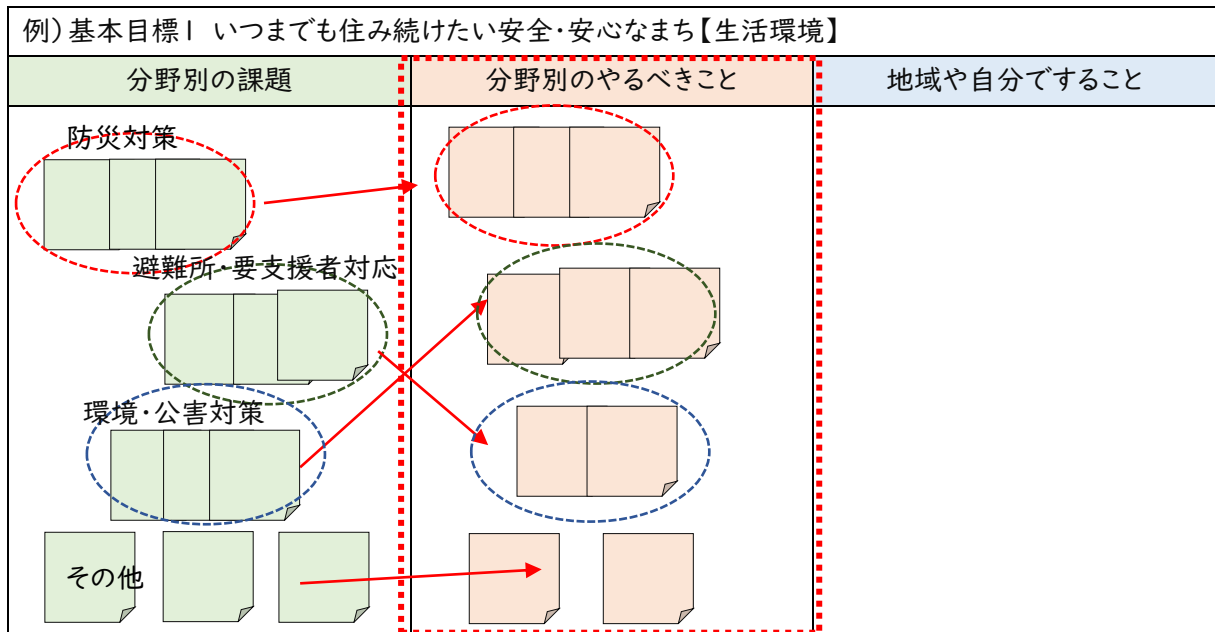
例) 基本目標1 いつまでも住み続けたい安全・安心なまち【生活環境】		
分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>防災対策</p>  <p>避難所・要支援者対応</p>  <p>環境・公害対策</p>  <p>その他</p> 		





②同じ意見、グループ等のカテゴリ分けを行うとともに、分野別の課題に対応する「やるべきこと」を矢印でつなげ、グループごとに発表しました。

※結果については、本報告書 12～17 ページを参照



## 第4回「テーマ別の課題について考えよう」


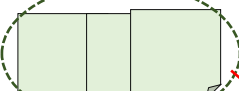
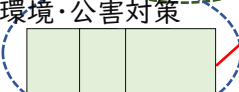

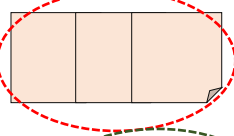
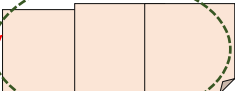
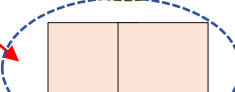
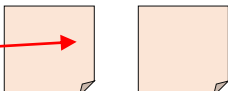
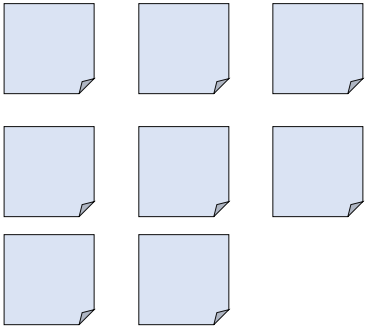
### 【内容】

- ・課題や、やるべきことを受けて、地域や自分ですることを検討し、模造紙にまとめ発表
- ※ワールドカフェ方式にて実施

### 〇ワーク（地域や自分ですることの提案）

- ①第2回、第3回の各グループの成果（ワークシート）をもとに、「地域や自分ですること」を付箋に記入し、貼り付けていきました。

例) 基本目標1 いつまでも住み続けたい安全・安心なまち【生活環境】

分野別の課題	分野別のやるべきこと	地域や自分ですること
<p>防災対策</p>  <p>避難所・要支援者対応</p>  <p>環境・公害対策</p>  <p>その他</p> 	   	



②グループごとにカフェオーナーを決め、カフェオーナー以外は他の2グループに移動しました。

カフェオーナーは、最初にこれまでの作業の経緯と出された意見を説明した上で、各グループでの話し合いを行い、出された新たな意見を付箋に記入し、貼り付けていきました。

最後に、各グループのカフェオーナーより、総括的な発表を行いました。

※結果については、本報告書 12～17 ページを参照



## 7 参加した審議会委員の感想(第2回総合計画審議会での報告より抜粋)

### (A 委員)

毎回、学生さん方がたくさん参加していただきまして、本当に素直な感覚でいろんな意見を出していただいたことが、もう一度弥富市を見直すきっかけになったなと思いました。いろんな意見を聞きながら弥富が今後進むためには、こういう会はやはり必要だなということを感じました。

### (B 委員)

弥富市にお住まいの方も、弥富じゃない学生さんたちの意見も、いろんな意見が聞けて私は本当に有意義な時間だったなと感じました。

課題に向けて自分たちがどういうふうに関わっていったら解決できるのかというのを考えたのですが、365日、24時間しかない中で、自分が今やろうと思ったら、僅かなことしかできないことに気づきました。自分が今できる範囲でやれることを真面目に取り組んでいくことが、自分の中で行動に移せることではないかなと改めて感じました。

### (C 委員)

ワークショップに参加いただいたのが市民と学生さんということだったのですが、できれば、総合計画のことなので、いろんな課の方が一緒になっていらしゃるとありがたかったかなと思いました。

というのは、市民から出た課題が、実はそれもう弥富市で取り組んでいるとか、こういう形では実現しているなど、本当は言えることもあったのではないかなと思ったからです。そういった意見を聞いたときに、それぞれの課がサポートに入っていれば、より突っ込んだ課題感というのが出るので、より実態に合わせて、そういう課題を議論することができるのではないかなと思いました。

それから、やはり市民のほうも課題と言われると、結構意見が出るのですが、それをどう解決していくかという、さらに自分事となると、どうしても意見が減ってしまいます。

これは、市民もまちの課題解決を自分がやるんだという意識が成熟しておらず、これまではずっと市役所のほうでやってくれることの課題だけ言っていればよかったのが、何ができるかというところをより突っ込んでいくには、自分たちでまちの課題を解決していくんだというものの訓練としてワークショップをやっていくというのが市民にとってもためになるのではないかなと思います。今までは文句だけ言って終わりみたいなのが、自分たちで解決するという意識を醸成していくという形になるのではないかなと思いました。

## 8 ワークショップの作業結果

以下は、作業した模造紙をデータ化したものです。

# 基本目標 I

# いつまでも住み続けたい安全・安心なまち

# 【生活環境】



## 分野別の課題

## 分野別のやるべきこと

## 地域や自分ですること

### 防犯対策

- 防犯対策への危機意識が低い
- 防犯・交通安全に対する市民満足度が低すぎる
- 消防団員（新入会員）の不足
- 防犯カメラが少ない
- 防犯コミュニティ不足  
近隣がわからない
- 不審者が多い

- 電灯の数を増やしたり、明るくするように電気をつける
- クリスマスなど季節によって光を増やしたりもしてみる
- 夜に営業するお店を増やす
- 消防団員になったら 弥富市内の飲食店割引

- 交通安全を守り、運転する
- 信号が点滅したら走らず止まる

### 防犯対策

- 安全 高い建物 目印をつくる
- 高い建物を多く建てる

- 時間帯で通行できるように配慮してほしい
- 道路ができてのに通れない 時間帯規制

- ポイ捨て 無くす 減らす
- 自宅は自分できれいにしよう！
- 自腹でゴミステーション置いちゃった

### 不衛生

- ゴミ箱や置き場が少ない
- リサイクル場が全然ない
- ゴミ置き場（各地区）が道路上にあるので不衛生
- カラスによるゴミ荒らし
- 生ゴミ乾燥機の補助金（若い世代が使うもの）の導入をしてほしい

### 海抜ゼロ対策

- 学校・市役所でセミナー開催
- 交通安全教室を活発に行う

- 救急車が通れる道路幅を確保してほしい
- 通学路を作り、時間を限定し、自動車の通行を制限
- 車道と歩道を分けるような線を引く
- 生活道路内の速度を少し規制してはどうか

- ポイ捨て 条例を！
- 生ゴミを乾かして出す
- 空き家をゴミステーションにする

### 交通安全

### 海抜ゼロ対策

- 海抜ゼロメートル
- 海抜ゼロメートル 浸水対策
- 避難所（高台少ない）
- 津波を経験した人以外の若者の災害対策への意識や知識の不足
- 伊勢湾台風を経験した人が高齢になってしまっていて伝承がとまってしまい危機意識が低下している

### 交通安全

- 通勤・通学ラッシュ時、踏切近辺が自転車、自動車の区別がなく、危ない
- 自転車の交通ルールが県や市によって違うので、弥富市ではどのようなルールなのか周知されていない
- 車を乗っている時に暗く、対向車のライトが歩行者に見えない
- 交通安全に対する意識が低い

### 不衛生 のステーション （の見直し）

- ゴミ箱（業務用）の導入
- ゴミが分別しやすいようリサイクルボックスを配置する
- ゴミ回収の時間帯を知らせる
- ゴミ置き場を鉄製に
- ネットや網以外の Box を作ってみたり、他の方法を試してみる

- 最低限のゴミの分類を自分たちで行うよう意識する
- 通学路清掃地区ぐるみで

地域や家族でハザードマップの確認と共有

### 避難できない

- 避難所が少ない
- 避難場所避難所の確保

### その他

- 重点課題への対応が不明
- 寄ろうと思わない（ベッドタウンになっている） 娯楽施設 **少**

### その他

- 若い世代と年齢の方の交流を増やす

### 避難できない

- 公園を避難場所として利用できるように整える
- 避難訓練の実施
- 市外と連携し、避難所の確保

- 自治会ごとに防災対策を話し合う機会をつくる
- 伊勢湾台風 経験した高齢の方が危機感を伝える
- ゴミ出しや回覧板を隣に持って行く少しの時間でもしっかり鍵を締める
- 自宅や店に防犯カメラをつける
- 避難所にお寺も含める
- 避難及び支援者をどうするのか、避難先・方法を近所で確認し合う
- 防災・防犯パトロールを強化
- 防犯対策として施錠やシャッターの徹底
- 避難ルートの確認としてウォーキングイベント開く？（子供参加のため提灯を持ったり、楽しくする）
- 防犯対策として貼り紙や看板を立てることで目につく回数を増やす



## 分野別の課題

保育

保育園・幼稚園 定員-20人のところ 定員割れ 8/10カ所 1	保育園・幼稚園 約 定員 半分のところ 4/10カ所 2	北部に病院が集中している分、南部住民は不安 5
保育時間が短いと感じる世帯もある 子育て世代の負担軽減 3	病児・病後児保育の件数少なすぎる 8件/年!! 4	北部と南部で病院数に「差」がある 6

## 高齢者支援の充実

被保険者1人当たりの医療費が増加 1	病院の当日予約が来ない 2	慢性期病院が少ない 3	生活習慣病で亡くなる方が増加 ④
一人暮らし高齢者増 ↓ 空き家問題 5	一人高齢者世帯の増加 6	きんちゃんバスのバス停が…。位置もっと多くしたほうが便利なのは 7	認知症高齢者の増加 ⑧
			障がい者(知的)グループホーム不足 9

## 生活困窮

多問題家族増 低所得→子の教育格差 ↓ 依存症 貧困 薬・アルコール ↓ DV ①	いわゆる生活困窮者、 貧困、高齢 困っていても声を出せない方への支援ができていない サイレントプア ②
ゴミ屋敷 3	福祉制度にかからない間(ハザマ)の人への支援がない 4

## 福祉制度の認知度が低い

ボランティア団体が少ない ①	制度があっても周知が… ②
小さい団体に補助金がない ③	ボランティアの認知度が低い ④
福祉制度の複雑さ ⑤	困りごとに対して、何をどうすればいいのか解らず立ち止まる人たち ⑥

## 分野別のやるべきこと

### ハード&ソフト

ハード面(福祉施設)の整備 マンパワーの確保 財源は? 助成金 クラウドファンディングなども 1~4	地域格差を解消するための仕組みづくり 交通手段の確保 ・乗り合いバス、タクシー ・買い物支援 スーパーとの協働 5・6
--	--

### 認知症対策

フレイル 介護予防の充実 健康寿命を延ばす 1 4	認知症 家族や身内に当該者がいないと認知症に対するイメージがわからない 深刻さや苦労は解らない 他人ごと→自分ごとにするように 8	認知症予防に有効なこと ・体を動かす ・脳トレ 無理なくできる仕組みづくり 8
空き家の有効活用 5	一人暮らし高齢者の見守り活動 5・6	ワクチン接種中に脳トレ 8

## 情報発信

薬物依存・DV防止対策講座の実施 1
声を出しやすいようなご意見箱(SNSで募集?)を作る 2

## ボラ振興

ボランティアの楽しさ魅力をもっとPR 1 4
困りごとに対して対応できる公式SNS等を実施 6
クラウドファンディングの実施+プラス講座の実施 3

## 地域や自分ですること

自分、クラウドファンディングに出資

安楽死したい

自分、体操、運動

地域・自分 散歩(ジョギング)兼 見守り

地域  
・新聞配達員  
・電気料金検針員 見守り

地域  
医療機関に協力を仰ぐ(脳トレ)

自分 SNS発信

分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

**文化・芸術の振興**

- 祭りの規模が小さい
- いろいろな活動があっても知らないことが多い
- 弥富市の文化とは…すぐ思い浮かばない
- 文化協会の部員数が緩やかな減少
- 文化協会 既存団体に既得権あり、協会加盟メリット(施設減免)、デメリット(後継者不足)
- 高齢化により、文化協会登録者は減少が加速しそう

**生涯学習の充実**

- 図書館利用者が目標値よりも低い
- 図書館が古い
- 生涯学習の提供 → 高齢者から若者にどう伝えていくか

**スポーツの振興**

- 青少年の健全育成
  - 高齢者と若者の交流が少ない
- 学校教育の育成
  - スクールソーシャルワーカーの不足
  - 民間フリースクールが少ない 選択出来ない
  - 学校教育でのICTタブレットの導入が進んでいない
  - ICTタブレット導入率の明確な目標が無い(10%)
  - 空調設備設置小学校の数
  - 弥富市内に幼稚園がない
  - 通学路狭い 自転車危ない
  - 通学路が暗い
  - 親子参加型の体験学習講座の参加人数の目標値が曖昧?
- スポーツ行事の回数が増えていない
- スポーツイベントの発信力が無い
- スポーツ協会に入会している数に対して活動場所が少ない
- スポーツセンターの利用条件が厳しい
- スポーツ施設の場所があまり知られていない
- 中学生以上のスポーツチーム数が少ない
- 子供向けのスポーツイベントが少ない
- なぎなたの広まり方が弱い

**共通課題：認知度の低さ**

**大学生の力を借りる**

- 学生が高齢者と若者を繋ぐ策を立てる

**担い手の環境整備**

- ワクチン接種中に脳トレ
- ニュースポーツを流行らせる(ポッチャなど)
- 定年退職後に強制的に学習環境を提供する
- 高齢者の認知症予防 → 生涯学習における指導者の指導年数引上げ

**「知る」の深掘り (ex SNS, 記事)**

経験を通して「知る」・コミュニケーションを通じて「知る」・文献を通じて「知る」

- SNS運用のために部署を作る(専門性向上のため)
- 弥富市出身で情報発信力を入れている方に協力依頼する
- オンラインイベントを多く設置
- IoT整備を行い、市民に対して素早い情報提供
- 民間企業との「提携」
- 話題性の強い大規模イベントの作成
- 「野球部」強く ↓ 野球少年を増やし、弥富=野球の認知度↑
- ニュースポーツを流行らせる(ポッチャなど)

**行政職員同士の共有の精度向上**

- 予算の内訳を明確にする
- (全部署の活動を把握している人) 特定行政職員を創設

学校に対して学生支援を求める依頼(人のつながりを活かす)

中学・高校でニュースポーツに挑戦

お祭りの運営など多様な年齢層が触れ合えるようにする

← 子どもの頃から巻き込む ↓ 知識のある人を中心としたコミュニティの形成

伝統を作る! 教室とか

セミナー(教室)を開く

(リタイアした)経験者を活用する

IT難民をなくす

実感できる便利さをアピールする

情報発信の仕方としては貼り紙だったり、看板をつけることが上がる

町内会長又は子どもたちが自治会費等の集金

積極的に同窓会の開催

広報やとみにのせてもらう!

# 基本目標4

# 人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち

# 【産業・雇用】



## 分野別の課題

## 分野別のやるべきこと

## 地域や自分ですること

### 観光

観光資源	イベントが少ない	観光目玉を！ 川と鉄道はどう？	観光資源を市民自身が知らない
観光に力を入れる必要	・金魚産業 ・文鳥産業 ・農業 →ZOOM ↓法人化 IoT	観光？推進する必要性は？ 公園→整備・メンテナンス	名産物の市外へのPRが少ない

中部地区の特産として陶磁器、織物を発展させる事、それを集積させ売場場の提供

---

### 産業

耕作放棄地の解消方法 (受託農家に安く売って)	特産品を 開発(黒豆・枝豆など)	金魚に代わる個性的な産業がない	金魚農業商品などの地産品の発売を目的とする場所の設置
担い手不足	農水産業の担い手不足	円安に対応し農業関連の補助を(輸入飼料など)	
スケールメリットを農業に + IT活用		大きな発展を考えれば少なくとも尾張全体が一体となっていく必要が？	

---

### 商業

日本一のコンテナの輸出入を活かした流通産業を発展させる	農水産業について学生が触れる機会がない	創業支援策に特筆すべきところがない(市・商工会)	商工会議所が頼りにされていない
名古屋競馬と連携した商業振興策がない	起業への補助金を増やす年数も	「まちの活力」 港湾地域の産業、工業地化の他 →物流・産業の拠点化する全国の交通の中心として整備する	飲食店が少ない
	栄南地区の倉庫運送業を活かした物流を発展させ中部全域を世界につなぐ	科学的な分析	観光地にカフェがない！
	弥富に道の駅を		カフェなどの飲食できるところを観光する場所がないと人は集まらない
	道の駅がない	木曾川遊覧 夕日の見えるカフェ	

### 観光

競馬場と屋台村をおしゃれに  
お祭りもいっぱい  
各町内の祭を順にもってくる

市民が集まれる場所の選定  
どこか拠点  
づくりー市役所  
パティー  
付近

自転車預所を撤去  
→ビルに集める

木曾川川原の有効活用

---

### 産業

①海・川=港  
高速道2本  
⇒日本の交通と輸送の拠点として宣伝する

先進 宇宙産業地

農、工、商  
各々の目標と戦略を立てる

---

### 商業

駅前パティ型の市場・マーケットをつくり商店街の活性化おしゃれ化につなぐ

各家庭・町内会と農家、JAとLINEでつないで直送システムをつくる

農、工、商の地域を定めて戦略を立てる

障害者、弱者の働き場があり、店もあるので、集約し、話題化する又はスタンプラリー  
ひまわり

---

### 観光

観光のニーズを分析・把握すること

起業を市・行政が手伝う⇒方法、援助、資金

ゼロメートル地帯なので道の駅に防災センターを併設し、おいしい非常食食堂や売店をつくる

野鳥園、港サイクリングコース  
NHK放送塔、消防署排水機場、し尿処理場  
墓地 焼却場  
⇒就活・終活にする

---

### 各施設をつないだ企画づくり

各施設をつないだ企画づくり

---

### 市民が楽しく集まれる所が市外の人にも集まる所になる

### 地域や自分ですること

発信する(SNSetcで)

貼り紙や看板を使い知ってもらう

SNSを使い学生も盛り上がるような企画をする

---

自分達で街の美化(行政は支援)

---

弱者にやさしい街

新規のイベントを立ち上げる

競馬場の見学イベントをやる

---

働く人が安心できる街

似たような仕事をしている人でグループをつくる

経営者が新規開業者の相談に乗ってあげる

---

4年12月のニュースの中で瀬戸市の瀬戸物制作者の紹介で白文鳥をデザインした白い形の陶器を売り出す話が有った  
弥富にとって必要な物に感じ協力に参加して一緒にきんちゃん、鳥等と共にコラボを

私がカフェを経営します

市職員のG1グランプリ(業務改善運動)いいことです  
続けて下さい

---

民俗資料館に期待します



分野別の課題

分野別のやるべきこと

地域や自分ですること

**駅前**

- 駅前の横断歩道が分かりにくい
- JR・名鉄から近鉄への乗り換えが分かりにくい
- シャッター商店街がある
- 市の案内図がない(標識がない)
- 駅の近くに公園や広場がない
- 駐輪場がいつも満員
- 駅周辺が暗い
- 街灯が車道付近しかない

**駅前**

- 駅前の街灯をともす
- 雨でも自転車でももらえるように駐輪場に屋根を設置する
- わかりやすいように案内板を作る
- 弥富駅北側周辺の整備
- 空き家を飲食店に
- 電子案内板を設置する
- 放置自転車の整備
- 街路灯の整備の徹底 明るい街に
- 駅前の横断歩道に信号をつけるようにする

**地域や自分ですること**

- 公園の清掃活動
- 公園の清掃は地域で
- ゴミを落とさないようにする!!
- 地域の公園は地域単位で整備する 管理も含めて!!
- バス運行と利用状況が不明なので精査する
- バス代の無料化

**公園**

- 歩行者道路がない
- 道路狭い
- 道路が狭い
- 歩道がない 場所危ない
- 車道と道路が区別されていない
- ゴミ置き場が歩道で危ない
- 公園の老朽化
- 緑地が土地の割に少ない
- 遊べる場所が少ない

**公園**

- 公園の見直し
- 駅の近くに公園を作る
- 区画整理により、道路を広く

**歩道**

- 川沿いから住宅街の歩道が少ない(本当に危ない)
- 車道が狭く交通渋滞が起きやすい

**危険**

**バス**

- 老朽化(公園、バス、住宅 以外) 津波時浸水??
- 利用しやすいコミュニティバスを考える 時間帯など
- バスの本数(時間帯 平日) ダイヤの見直し
- タクシー会社と提携して、市内割引券を作る (買い物先、病院、駅、市役所 etc)
- バスの値段を下げる
- 駐車場の見直し
- バスを一度なくす その後必要な停留所をつくる

**バスは再考!**

**危険・歩道は交通安全と共有**

- 節水を心がける!
- 水質をよくするために川をきれいにする 清掃活動
- 交通安全の意識を高める
- 危険な歩道付近に注意喚起の看板を設置

**水道代**

- 水道代が弥富市は高い(愛知県の中でも高いとクリーンテックさんより聞きました)
- 下水道の整備が いまいち
- 上下水道の整備のムラがある

- 節水の呼びかけ
- 水道水の確保 おいしい水を飲み続けられるように 安心して
- 年間契約にて水道水を確保している
- 災害時用の水を買って保管している
- 上下水道の遅れている所を進んで整備
- 下水道の整備は計画通り進行している 進行していく 予算内に整備する
- 水道水の質が一番良い 質の確保と継続

- AIを活用した自動運転タクシーにチャレンジ!
- 行政に興味を持つ事!
- 市役所に投書する(水道代について)
- 様々な施設の現状について知る 努力をする

**その他**

- 空き家の状況は把握していますか?
- 農地の管理ができていない 草だらけです
- 若者(20代)から見たとき 飲食店 少
- 学校への通学 小・中 が遠い
- コンテナターミナル 危険??
- 雨天時にロータリーが 混み合う

**その他**

- 不動産に空き家の土地を売る
- 市外と連携

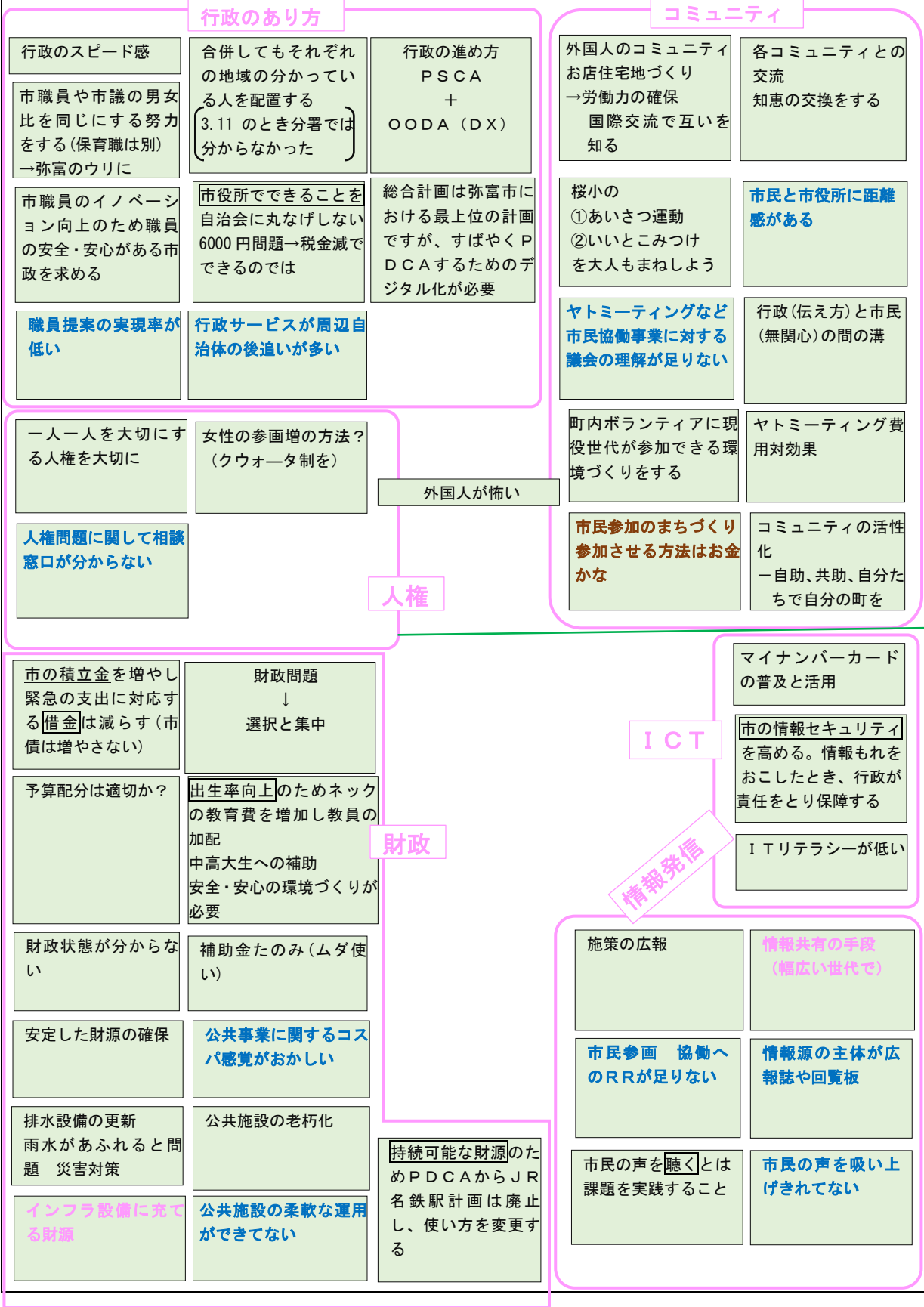
# 基本目標 6

# 市民と行政がつながり、共につくるまち

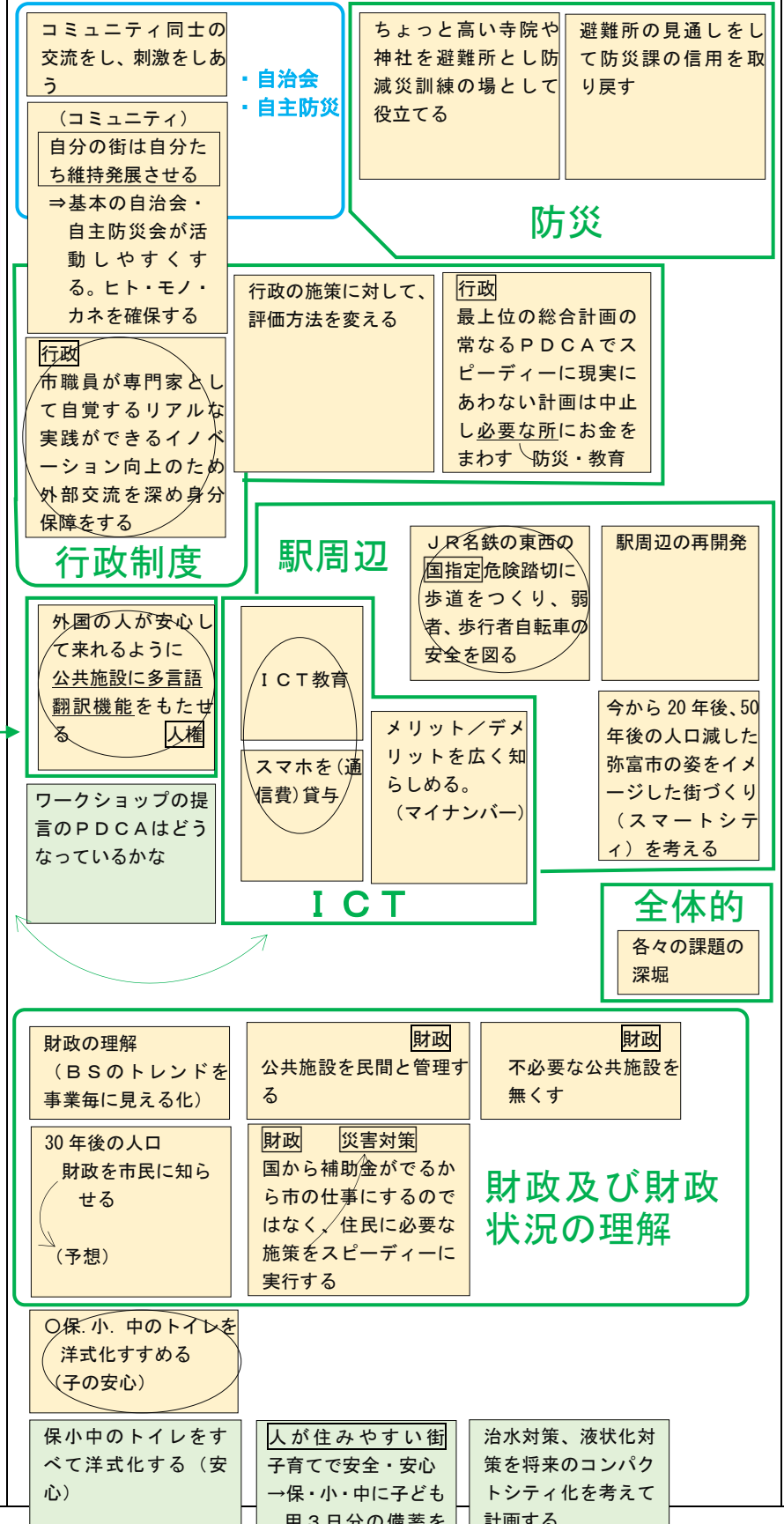
# 【協働・行財政】



## 分野別の課題



## 分野別のやるべきこと



## 地域や自分ですること

